

李大統領 未来志向の日韓関係を 国交正常化60年式典にメッセージ

【ソウル＝桜井紀雄】日韓両国が1965年に日韓基本条約などを結び、国交

正常化してから今年で60年となるのを記念し、ソウルで16日、在韓日本大使館主



催の記念式典が開かれた。4日に就任した革新系の李在明大統領がビデオメッセージを寄せ、「韓日関係が安定的で未来志向の発展を遂げていくことを願う」と表明した。

李氏は日本への強硬な発言で知られていたが、大統領選中は「国益中心の実用外交」を唱え、日米との協力を重視する立場を繰り返して訴えてきた。

李氏はメッセージで、日韓が60年間にわたって経済や文化、人的交流などさまざまな分野で協力を深めてきたと指摘。「激変する国際情勢の中、両国はともに対応を模索すべき重要なパ

16日、ソウルで開かれた日韓国交正常化60周年の記念式典で、韓国の李在明大統領のビデオメッセージ（右奥）に耳を傾ける出席者

（共同）

ートナード」と強調した。カナダでの先進7カ国首脳会議（G7サミット）に出席するため16日に出国した李氏はメッセージで、G7サミットを皮切りに、石破茂首相と「信頼や友情を積み重ねていくことを期待する」と述べた。李氏はトランプ米大統領や石破首相とのカナダでの会談を調整している。

式典には日本から長島昭久首相補佐官が出席。長島氏は16日、韓国大統領府で外交・安全保障政策を統括する魏聖洛（ソウ・ソク）国家安保室長らと式典に先立って面談し、緊密な意思疎通を続ける方針を確認した。東京でも19日、在日韓国大使館の主催で国交正常化60周年を記念する行事が予定されている。